

【事業者向け】放課後等デイサービス自己評価表

事業所名：I l e 埼玉 ネオ

区分		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		基準を満たすスペースになっていますが 活動に合わせて工夫して 利用しています
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	基準以上の指導員を 配置しています
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	5	1	ほぼバリアフリーに なっています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		日々清潔に保てるように 心がけております
	5	必要に応じて、こどもの個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		概ねなっています
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		毎日のミーティングで行っています
	7	保護者等向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者様からのお声は聞き洩らさないように 指導員で共有しています
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	
	10	職員の資質の向上を行うために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	年間スケジュールに組み込んで 行っています
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		学校 家庭 デイで協議して支援計画に取り入れています
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		指導員全体でカンファレンスを行っています
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察など含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連帯」のねらい及び支援内容も踏まえながら子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		卒業までの流れを考えて 身辺自立を目標に行っております
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		就業前にミーティングを行い 確認をしています
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	その日に出来ない時は 次の日のミーティングで必ず 共有を図っています

区分		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		児発菅を中心に行っています
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの子本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6		

区分		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		自分で活動を 選択できる機会を設けている
	26	障害児相談支援事業のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		年に数回 参加しています
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	協力医療機関と協議し 情報共有を図っています
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校に事業所登録をし 年間情報の共有をしています
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報提供などを行っているか。	6		卒業後の進路先へ出向き 情報共有をしています。また数か月後に 様子を見に訪れることもあります
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	学童の先生方との情報交換は 良く行っています
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	年に1回ほどは参加するように しています
	34	日頃から子供の状況等を保護者に伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時や面談時に お話させていただいています
保護者への説明責任等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修機会や情報提供等を行っているか。	4	2	
	36	運営規定、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明をしているか。	6		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		連絡ノートを通じて行っています。気になる場合には ご家庭に出向き お話を聞いています
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		十分な説明をし ご納得して頂いています
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		
	40	保護者会の活動を支援する事や、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。またきょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情体制について契約時に 説明をさせていただいています
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		通信 ブログでお知らせしています
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	6		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		夏祭り クリスマス会 避難訓練など近隣住民にも お声掛けをさせてもらっています
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		定期的の実施しています

区分		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時などの対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		投薬「あり」のお子さんの薬について スタッフ同士で確認してから 投与している
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		食物アレルギーのお子様には 日頃より注意をしております
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		日々研修等で 繰り返し行っています
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図れるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		
	52	ヒヤリハットを事業者内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		報告書に記載し 振り返りをしています
	53	虐待を防止するため、職員の研修会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		